



▲21年度工事の実施状況を確認する
小貫代表監査委員と黒田監査委員

審査の結果

平成21年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算書については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、執行は適正なものと認められた。

審査のむすび

当町の財政状況は、東京電力(株)広野火力発電所にかかる固定資産税が年々減少し、財政力指数は前年度に比べ、0.158ポイント低下しています。

今後は減少する税収を見すえ、平成21年度の政策や施策の結果を検証するとともに、継続が必要な事業や町民のための優先事業等を見極めて行かなければなりません。

また、年々増加している収入未済額については、その解消に向け、英知を集めて努力されることを望みます。

49億円の成果を認定

—減らない収入 未済額、4年連続で2億円を上回る—
(税金等の滞納など)



▲舗装改良された町道苗代替線

平成21年度決算のあらまし

一般会計は、約37億702万円、特別会計は、国民健康保険など7会計合わせて約11億8,548万円となり、合計約48億9,250万円余の歳出決算となりました。

前年度と比べて、約3.7%増加しています。これに対して、歳入決算は約51億9,069万円となりました。

しかしながら、一般会計と7特別会計を合わせた収入未済額(税金等の滞納など)については、前年度とほぼ同額で、4年連続で2億円を上回りました。

町民の負担の公平性を保つためにも、収入未済額の早急な解消が求められます。

討論の末 10対1で認定

平成21年度一般会計決算認定

反対 畑中 大子 議員

特別会計への繰出し金や事業が含まれている

一般会計歳入歳出決算には、後期高齢者医療や老人医療の適正化対策といった特別会計への繰出し金や事業費が含まれています。

私は後期高齢者医療制度の廃止と老人医療費の適正化という言葉が、高齢者に対してどういふことをさすのか意味を認められないため、決算認定に反対します。

賛成 鈴木 紀昭 議員

決算は1年間の集大成

決算認定については、当初予算や補正予算を含めて昨年1年間議会において徹底的に討論し可決されたものであり、その集大成と認識するものです。

それを否決することは昨年度の議員活動を否定するものと考えます。

また、監査委員の報告や意見書にもあるように適正に処理されたとの報告もありますので、決算認定に賛成します。



▲平成21年度一般会計決算認定採決のようす